

平成 2 4 年

第 5 回仙北市議会定例会

教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成24年第5回仙北市議会定例会の開会にあたり、前回定例会後の主な事項についてご報告をさせていただきます。

【教育指導課】

◇かくのだて幼稚園のアスベスト除去・耐震補強工事の進捗状況について

かくのだて幼稚園のアスベスト除去・耐震補強工事は、10月16日に着工し、12月20日までの予定で工事を進めておりましたが、アスベスト除去作業の関係により約1カ月の工期延長となる見込みです。

なお、園児は9月24日から角館東地区公民館内の仮園舎で順調に園生活を送っております。工事は1月上旬に終了し、その後、県の検査を経て1月中旬からは、改修された幼稚園での園生活がスタートする予定です。

◇仙北市小・中学校教育研究会の開催について

11月15日、角館小学校と角館中学校を会場に、市内小・中学校の教職員190人が集い、公開研究会を開催いたしました。

これは、北浦教育文化研究所が中心となり、仙北市の教職員で組織している「仙北市小・中学校教育研究会」の主催で開催されたものです。市内の教職員が一堂に会し、授業研究会を実施するのは、昨年度の西明寺小・中学校に引き続き2回目となります。

当日は、両校の全学年の公開授業、教科分科会、全体会を行い、学力向上に向けた取り組みを中心にしながら、市内各校の実践について熱心な協議を行い、課題や目指す授業について共通理解を深め、大きな成果を上げて終了いたしました。

◇仙北市学校給食センター条例の一部改正について

平成28年度に大曲養護学校の分校が角館南高等学校跡地に開校されることに先立ち、来年度から角館児童館に分教室が設置されます。設置に当たり県教育委員会から給食提供の要望が出されており、当教育委員会としても協力したいと考えております。現在の学校給

食センター条例では、市立の小・中学校以外に提供することができないため、養護学校の分教室にも給食を提供できるよう仙北市学校給食センター条例の一部を改正する条例（案）を提案しておりますので、よろしくお願いたします。

【生涯学習課】

◇国民文化祭について

10月30日、第29回国民文化祭仙北市実行委員会第2回総会を開催し、各事業別企画委員会から提出された10事業の実施計画素案を承認し、県企画委員会に提出しました。11月20日に開催された県企画委員会で示された秋田県全体の実施計画素案によると、各市町村が主催する「分野別フェスティバル」は66事業となっております。

今後、開催に向けた準備を進めていくこととなりますが、「大正琴の祭典」と「アートdeまちあるき」については、来年度、プレ大会の開催を要望されており、今後検討してまいります。

【公民館】

◇仙北市文化祭について

市内各地区において、仙北市文化祭が盛大に開催されました。

10月27日・28日は、田沢湖地区が生保内市民体育館、角館地区が角館交流センター、11月3日は、西木地区の西木温泉クリオン及び西木林業者等健康増進施設で、各地区文化祭実行委員会や芸術・文化団体等が一丸となり開催されております。

日ごろの芸術文化活動の作品や芸能など多数が展示・披露され、3地区で延べ約1,500人が鑑賞しました。

【市民会館】

◇第27回「生保内節全国大会」について

昨年に引き続き、がんばろう！東北 第27回「生保内節全国大会」を9月22日と23日の2日間、県内外から民謡を愛する方々を迎え開催しました。

今年は、一般の部に131人、年少者の部に20人が出場し、生保内節と正調生保内節（元唄）で、日ごろ鍛えた自慢ののどを披露し、その力強い歌声は多くの聴衆を魅了しました。

参加者は年々減少傾向にありますが、今後も大会の充実を図りながら、民謡の伝承と普及に努めてまいります。

◇「ロビーコンサート」について

市民の皆さんに気軽に音楽を楽しんでいただくため初めての試みとして、9月29日に市民会館玄関ロビーで、第1回「ロビーコンサート」を開催しました。

クラシックとビッグバンドによるすばらしい演奏が100人ほどの聴衆を魅了し、最後は会場全体が一体となり楽しく終了することができました。12月15日には、第2回目となる「クリスマス・ロビーコンサート」を計画しており、今後も様々なジャンルの催しを楽しんでいただく「ロビーコンサート」を定着させ、市民のいこいの場となるよう更に努力してまいります。

【田沢湖図書館】

◇「朗読コンサート」について

10月20日に、田沢湖図書館初の試みとして「朗読コンサート」を開催しました。

読書スペースを小ホールに変え、和紙の灯りのもと、ピアノとクラリネットの演奏にのせ、命と自然のすばらしさを静かに訴える朗読に、およそ50人の聴衆が心豊かなひとときを過ごしました。

参加者になじみ深い絵本を選び、本に囲まれながら音楽を聴くなど、工夫を凝らしたコンサートは、図書館への興味を引きつける役割を果たしてくれました。

今後も本のすばらしさや読書の楽しさを知ってもらおう努力を続けてまいります。

【学習資料館・イベント交流館】

◇文化講演会について

10月15日、角館町図書館後援会主催による文化講演会が樺細工伝承館を会場に行われました。今回は、新潮社記念文学館の名誉館長である高井有一氏の紹介により、小説家で日本大学芸術学部教授の佐藤洋二郎氏を講師にお迎えし「諦めない修業」と題した講演をいただきました。聴講された約100人の方々からは、大変感銘を受けたとの声が聞かれました。

【スポーツ振興課】

◇仙北市体育施設マスタープランについて

仙北市体育施設マスタープランについては、仙北市体育施設マスタープラン策定委員会から提言を得て、8月に案を作成し市議会等の皆さんからご意見をいただき、マスタープラン案の見直しを進めております。今後の仙北市体育施設の管理並びにスポーツを振興する上で基本となるものであり、今会期中に策定案を総務文教常任委員会にお諮りし、教育委員会で成案可決後、皆様にお示ししたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

◇平成24年度東北高等学校駅伝競走大会について

11月8日に田沢湖周回コースにおいて、平成24年度東北高等学校駅伝競走大会が開催されました。男子は42.195kmの7区間に27チーム、女子は21.0975kmの5区間に29チームが出場しました。

当日は、気温が低く小雨が降る悪条件の中でのレースでしたが、男子は福島県の学法石川高校が、女子は青森県の青森山田高校が優勝しました。大曲仙北地区では、男子は大曲工業高校、女子は大曲高校が出場し大健闘しました。特に大曲工業高校の6区には、地元仙北市の選手が出場し、たくさんの声援を受けながら力強い走りを見せてくれました。

本大会には、大会前から選手・役員だけで延べ1,500人以上が宿泊しており、経済効果も大きかったと認識しています。今後も市民の運動に関する意識をより高めていくため、こうした大会を誘致しながら、身近なスポーツの振興を推進してまいります。

◇第11回日韓青少年冬季スポーツ交流事業について

日韓青少年冬季スポーツ交流事業は、文部科学省の事業で日本体育協会が主催し、今年秋田県と北海道で実施されます。来年1月21日から7日間、秋田県から指導者と中学生合わせて47人が韓国に派遣され、仙北市からも指導者4人と中学生6人が参加します。また、2月17日から7日間は、韓国から50人ほどが仙北市を訪れるものです。

これは、2002年サッカーワールドカップ大会の共同開催を機に、幅広い年齢層を対象とした各種スポーツ交流を実施することにより、日韓両国の親善と友好をより一層深め、更には両国のスポーツ振興を図ることを目的に、両国選手団員が互いの国を訪問し様々な交流を行う事業です。秋田県では、たざわ湖スキー場において、アルペンスキーとクロスカンリースキーの2種目で交流を図ることとしています。

【文化財課】

◇全国祭屋台等製作修理技術者研修会について

10月13日と14日の2日間、角館樺細工伝承館を主会場に「全国祭屋台等製作修理技術者研修会」が開催されました。この研修会は、角館のお祭り保存会が加盟している「全国山・鉾・屋台保存連合会」の部会である「屋台等製作修理技術者会」が、祭屋台等の製作・修理技術の練磨と後継者育成を図ろうと毎年全国各地で開催しているものです。当日は、全国各地から50人ほどの技術者と地元のまつり関係者など約100人が参加しました。

13日は、講演会と夕方から現地研修会が行われ、伝承館前において横町と北部丁内若者2台の曳山による激突が行われ、参加者や観光客、地元住民から大きな歓声が上がりました。

翌14日は、各丁内の曳山と張番を巡りました。曳山の構造と角館のお祭りの歴史について、全国に発信することができたと思っております。

【平福記念美術館】

◇「川端龍子展」について

9月16日から11月23日まで平福記念美術館、新潮社記念文学館、樺細工伝承館の三館合同で開催した企画展「川端龍子展」は、三館で13,434人の来場者がありました。展示品を貸して下さった大田区立龍子記念館職員の方々や、龍子のお孫さんもお見えになり、三館の展示と仙北市の観光を堪能していただきました。龍子記念館から借用した大型の作品に加え、龍子が家族のために描いた愛情あふれる絵手紙の数々や小品、ご家族との写真なども多数展示した今回の展示会は、川端家ご親族の方々は勿論、一般の来場者にも興味深い内容で好評を博しました。

また、10月21日には、大田区立龍子記念館の平澤館長と秋田県立近代美術館の山本学芸主事による記念講演が伝承館で開催され、秋田市や横手市など、市内外から多くの美術愛好家が聴講に訪れました。

◇「児童生徒県南美術展」について

12月5日から来年1月29日まで、第35回「児童生徒県南美術展」を開催いたします。県南の小・中学校91校から1,131点の出品があり、作品が展示された生徒さんとそのご家族、関係者に大変喜ばれる恒例の企画展です。たくさんの来場者を期待しております。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願い申し上げます。